

武雄市立武雄中学校学校便り

叶武



NO. 20 令和3年2月4日
〒843-0024
武雄市武雄町大字富岡11606番地
TEL 0954-22-4105
文責 校長 熊野辰未

学校教育目標 「高い志と誇りを持ち、心豊かで輝く生徒の育成」

《円周率について あきらめず 一歩ずつ努力を》

「・・・しかし、誰も疑問に思わない円周率に、そこまで興味をもたれるとは、本当に孝和殿は面白い人だ。」現代では当たり前の円周率(3.1415926535897932384・・・)がまだ使われていなかった江戸時代に円に魅せられて、その謎を解こうとした数学者がいました。みなさん知っていますか。彼の名は、死後、算聖(さんせい)と呼ばれた数学者の**関孝和**です。

今日は、関孝和について述べたいと思います。関孝和は、江戸時代、日本で初めて円周率を小数点以下11桁まで正しく計算した数学者です。円周率は、無理数といわれ無限に続く小数で表されます。現在は、コンピュータを使って小数点以下50兆桁まで計算されています。今は、概数として3.14が使われていますが、江戸時代は3.16という数値を使っていました。これは、中国から伝わっていた数値で、当時、誰も疑問に思いませんでした。関孝和は、16歳のとき、この数値に本当にそうなのかと疑問を抱いたのです。

実際に円を描き円周を測り何回計算しても3.16よりも小さくなるのでした。30歳の時に、円の内側に入る正多角形の辺の数を増やすという方法で小数点以下11桁まで求めました。この時の正多角形は、何角形だったでしょう。なんと**正十三万角形**です。途方もない大変な計算をしたこととなります。彼はそれまでに、15年もかかっています。しかし、満足していません。このあとも正しい数値を求める研究を続けています。円周率は、終わりのない数です。彼は、円周率を求めることに一生涯を費やしています。関孝和が、円周率を追求したのは、純粋に正しい数値を知りたいという願いと自分で確かめたいという気持ちからです。

今は、知りたいと思った事は、ネットで検索すればすぐに情報を得ることができる時代です。もちろんそれでもいいのですが、ネットで検索した事柄は、自分ではない誰かの情報にすぎません。だからこそ、自分で真実を確かめる姿勢を大切にしてもらいたいと思います。

みなさん、現在もそうでしょうが、いろいろなたくさんの情報に囲まれることとなります。その中には、正しいものや真実でないもの、悪意に満ちたものなど様々だと思います。その真偽を見極め、正しい情報を得るように努めてもらいたいと思います。同時に、目標を達成するために、あきらめず一歩ずつ努力を続けてください。自信と誇りにつながります。「努力は、天才に勝る」